

# ピクチャーカードで英語学習の日常化

福島県いわき市立高坂小学校教諭 吉田 経泰

## 小学英语の教材を探して

本校は、平成17年度から英語特区モデル校になり、研究を進めている。研究内容のひとつとして、これまで効果的な教材の開発や発掘を行ってきた。英語特区のモデル校を引き受けることになり、まず思ったことは「何を準備したらよいか」である。

先進校を視察したり、参考文献等を見たりしながら、視覚に訴えるものが必要であることがわかってきた。小学校の英語は、中学校とは違い、文字の読み書きや文法の学習はない。ネイティブの発音を聞いて真似たり、ゲームや歌などを通して楽しみながら学んだりする活動が主な内容となる。

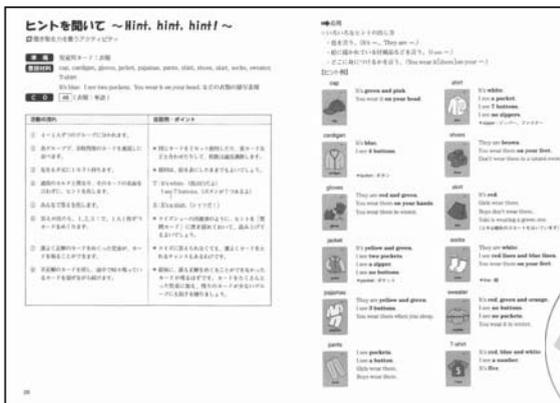
ロールプレイやゲーム、チャッツでは、文字ではなく具体物の提示が必要になってくる。具体物なしでは子どもたちの興味・関心が減退するのは勿論、理解や知識の定着度も低下することは明らかである。実物、もしくはそれに近い物がいつでも手に入るわけではないし、毎回の授業に向けて準備するのも大変な作業である。英語ばかりでなく他の教科も指導しなければならぬ小学校の教師なら、なおさらのことである。そういった状況を踏まえ、準備の容易さや視覚的效果を考えると、ピクチャーカードが有効ではないかと考えた。しかし、ピクチャーカードや発音のCD、歌などを展開例に合わせてそろえるのは大変なことである。そんな中で出会ったのが、これから紹介する「えいごdeハロー」であった。

## 「えいごdeハロー」

新学社の「えいごdeハロー」は、ピクチャーカード、歌のCD、テキストの3つの教材がセットになった教師用の英語教材である。「カードdeえいご」には、ピクチャーカードと発音CDがセットになっているので、カードを見ながら、CDに合わせて発音練習をすることができた。付属の「アクティビティブック」には、CDやピクチャーカードを用いた実際の活動展開例が載っている。

新学社の「えいごdeハロー」は、ピクチャーカード、歌のCD、テキストの3つの教材がセットになった教師用の英語教材である。「カードdeえいご」には、ピクチャーカードと発音CDがセットになっているので、カードを見ながら、CDに合わせて発音練習をすることができた。付属の「アクティビティブック」には、CDやピクチャーカードを用いた実際の活動展開例が載っている。

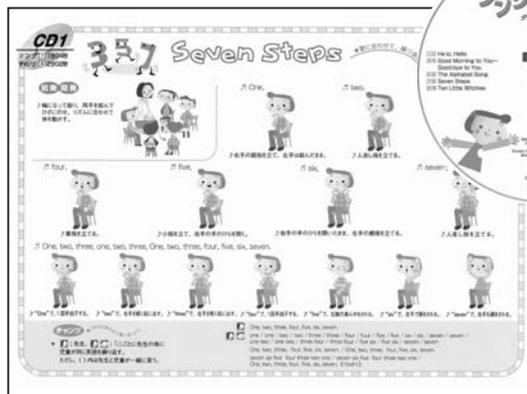
### ▼ アクティビティブック



ゲームのルールやポイントも載っている。



### ▼ レッスンカード



裏面には、楽譜や歌詞の意味なども載っている。

「ソングdeえいご」のCDには、小学生に合わせた曲が全20曲収められている。「レッスンカード」には、それらの曲の歌詞や踊りの振り付けが図解されたものが載っている。英語を楽しく学習するためには、ただ突っ立って歌うわけにもいかず、振り付けが図解されたものは大変重宝した。

「ブックdeえいご」のテキストは、「あいさつ・数・色」など、テーマに合わせた10冊の絵本であり、全ページがカラー写真で構成されている。付属の「レッスンプラン」には、これらのテキストの効果的な使い方が載っている。また、リーディングだけでなく、リズムカルなチャッツも収録されたCDが付いている。



児童用ピクチャーカードを使った活動例をご紹介します。

## ゴー フィッシュ! ~Go fish!~



活動の流れ	会話例・ポイント
<ol style="list-style-type: none"> <li>活動がしやすいように、クラスをいくつかのグループに分けます。</li> <li>各グループに、ピクチャーカードを2セットずつ渡します。</li> <li>カードをよくきって、1人に5枚ずつ配り、残りは中央に山にして置きます。</li> <li>手持ちのカードにペアがあれば、最初にその単語を言いながら中央に捨てることができます。</li> <li>順番を決め、自分と同じカードを持っていそうな児童に見当をつけて右のようにたずねます。</li> <li>その児童が同じカードを持っていたら、そのカードをもらってペアを作り、中央に捨てることができます。 持っていなかったら、中央の山から1枚カードを引かなければなりません。引いたカードでペアができれば、中央に捨てることができます。</li> <li>ゲームを繰り返し、カードが早くなくなった児童の勝ちとなります。</li> </ol>	<p>※使用するカードの種類・枚数は、適宜調節してください。ここでは、4～6人のグループで20枚×2セットのカードを使います。</p> <p>&lt;Blackboard (黒板) のカードを2枚持っている場合&gt; S1: Blackboard. →中央に捨てる。</p> <p>S1: Do you have crayons? (クレヨンのカード、持ってる?)</p> <p>&lt;持っている場合&gt; S2: Yes, I do. Here you are. (うん。どうぞ) S1: Thank you. (ありがとう)</p> <p>&lt;持っていない場合&gt; S2: No, I don't. Go fish! (持っていないよ。ゴー フィッシュ!)</p> <p>※ "Go fish" は請求されたカードを持っていない場合に、請求者に山から1枚取らせるときの決まり文句です。</p> <p>～「カードdeえいご」アクティビティブックより～</p>